

世界基準の鋼管先受工法

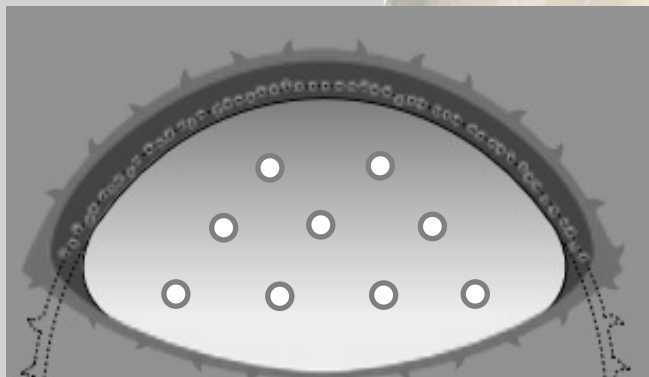
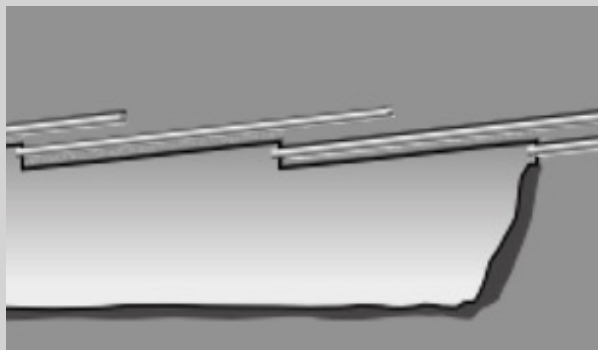


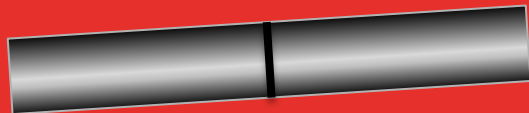
<特徴>

- その1 : 鋼管と鋼管をネジ式の接続方法
- その2 : ロストビットとパイロットビットの2重方式による削孔方法
- その3 : 各AGF工法に対応
- その4 : 鋼管径・鋼管長の種類が豊富 (用途が広がる)
→Φ79.6mm~Φ139.6mmの鋼管が打設可能

<用途>

- ①長尺先受け工法 (AGF : ALL GROUND FASTEN)
- ②フットパイル工法 (AGP) 脚部
- ③サイドパイル工法 (AGP)
- ④長尺鏡ボルト (FACE PILE)





<パイロットビット>

Φ114.3mm鋼管用に設計された回収式のパイロットビットです。
軟岩地山から硬岩地山まで幅広い地質対応型のビット構造になっております。
経済的かつ効率的なシステム構造になっています。

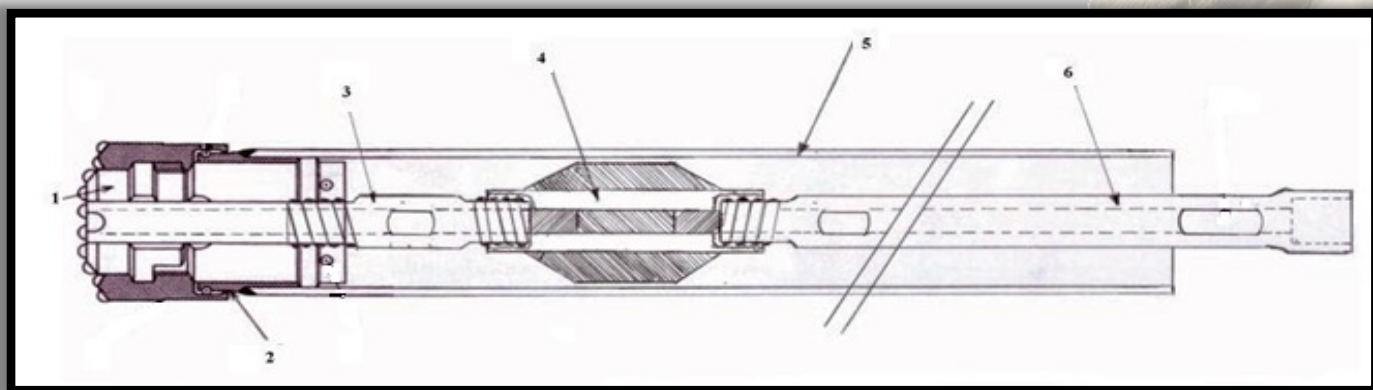


<ロストビット>

Φ114.3mm用の鋼管用に設計されたリングビット（ロスト式）です。
チップの数量により各地質毎に対応可能なビットです。



<概要図>



- | | |
|------------|--------------|
| 1:パイロットビット | 4:スタビライザー |
| 2:リングビット | 5:AGF鋼管(先頭管) |
| 3:先端ロッド | 6:中間ロッド |

✉ご不明な点は、弊社までお問合せください。

Vr. 2022SP